

# 熊本地震復興支援の恩恵は 新たに「熊本子ども未来プロジェクト」として 支援金を子ども達の未来に還元する

## 『プロジェクトの方向性』

- 1, 復興支援で開発した Fun&Fit 運動プログラムをもとに、継続的に保育士の先生方がよりわかりやすいように研修を継続していく。
- 2, プログラムのノウハウが、災害や集団感染などの子ども達の活動停止時に活かされている。その実績をもとに必要とする人たちへ役に立てるような啓発活動を実施する。
- 3, 未来の教職員（学生）への実地研修を提供する。
- 4, 子ども達の考案プロジェクトをサポートする

## 開発プログラム啓発事業（令和5年度）

熊本地震から7年半、震源地であった益城エリアは熊本県が提供するスクールバス送迎支援（遠方通学）が今年廃止された。益城町教育委員会の運動体力調査によると年々運動能力の低下が問題視されている。また当団体も益城町の総合運動部を通して運動不足による腕力と共に脚力低下が課題と感じている。

令和3年度の研究をもとに開発した「Fun&Fit オリジナル運動プログラム」の体験型研修を県内で幅広く提供できた。研修後のアンケート調査を繰り返すことでプログラム改良を行い「幼児期に身に付けてほしい36の基本動作カード（サーキットカード）」が完成。

※同時に運動測定を行い、定期的に職員が実施しているプログラムに対してフィードバックやスキルアップ研修を行う。半年後に再度測定を行い、保育士・幼稚園教諭だけで狙いのある運動指導で向上したかを研究調査する。

「益城町」と共に子どもの未来をサポートしていけるように、誰でもどこでも「心身ともに逞しく、災害時や社会に通用するような生きる力を養う」プログラムを全国で幅広く提供できる取り組みを行う。

## ≪内容≫

### 1, 『幼児体育教室』+ 『プログラム啓発活動』

- 【時間】 園の正規時間内
- 【対象】 全園児 延べ750名
- 【費用】 NIPPON IT チャリティー駅伝実行委員会 (東京)  
一般社団法人 Fun&Fit 予算、益城各保育予算
- 【回数】 各園毎月1回ずつ実施
- 【内容】

現地ヒアリングと先生方への運動に関する「悩み」を集約する為にアンケート調査をする。昨年度同様に研修結果と悩みアンケート調査の結果をもとに、悩みの解決につなげる運動プログラムを在園児に対して指導をし、現場で研修を行う。その後、実践に対するアンケート調査と測定を行い、保育士・幼稚園教諭だけで狙いのある運動指導ができる環境を提示して行く。

【実施園】 令和5年4月から令和6年3月末 各園12回 計120h

- ・ 益城町立益城第1保育所 2h×12日  
4月3日、5月1日、6月5日、7月25日、8月7日、9月4日、10月2日  
11月6日、12月4日、1月11日予定、2月5日予定、3月4日予定
- ・ 益城町立益城第二保育所 2h×12日  
4月10日、5月8日、6月12日、7月10日、8月9日、9月11日、10月12日  
11月13日、12月11日、1月15日予定、2月15日予定、3月11日予定
- ・ 益城町立益城第三保育所 2h×12日  
4月17日、5月15日、6月19日、7月20日、8月21日、9月21日、10月16日、  
11月20日、12月18日予定、1月22日予定、2月19日予定、3月18日予定
- ・ 益城町立益城第四保育所 2h×12日  
4月24日、5月22日、6月26日、7月24日、8月28日、9月25日、10月23日、  
11月27日、12月25日予定、1月29日予定、2月26日予定、3月25日予定
- ・ 益城町立益城第五保育所 2h×12日  
4月27日、5月29日、6月29日、7月31日、8月31日、9月28日、10月26日、  
11月30日、12月28日予定、1月25日予定、2月22日予定、3月28日予定

### 【成果】

昨年度の課題であった「保護者」も巻き込むことでより一層子どもたちの環境を創れると考える。園の協力の元、保護者へオンラインお便りを配信することでまた継続的な寄り添いから、子どもや保育士、「保護者」との信頼関係を築けることができた。保護者会の講演、親子活動にも声がかかるようになった。子育てに役立つ知識と活かし方を提供することができた。

### 【課題】

未就学児の運動能力数値を小学校にも申し送りをすることで継続的な環境創りができると考える。今後も保護者や学校職員へアンケート収集やヒアリングを行いニーズ調査する。

### 【活動の様子】



屋外にて園にある道具で「基礎体力を高めるあそび」実施している



全園児ができるように「サーキットカード」を参考にクラス毎にレベルを分けて実施

## 2、『体験型研修』+『プログラム啓発活動』

【対象】 県内公立保育園 23 園、益城町保育研修会 16 園

【費用】 各研修依頼予算

【回数】 研修・アンケート調査 1セットで実践

【内容】

研究をもとに開発した「Fun&Fit オリジナル運動プログラム」プログラム改良を行い「幼児期に身に付けてほしい36の基本動作カード(サーキットカード)」の体験型研修を提供する。

【実施日】 9月6日(2H)、11月25日(2H)

【成果】

年齢、場所、道具に応じて誰でも簡単に「カードを見て真似できる」子ども達は楽しく身体を動かす。保育者は意図した環境を設置する。カードがあることで動作のねらいやポイントがわかる。カードの使い方や子ども達の課題に合わせて使えるように、体験型の研修を導入することで理解力が高まった。知識を聞くだけではなく体感することで子どもの課題を改めて実感できた。身近なもので誰でもできることから高評価であった

【課題】

研修に参加した職員は理解しているが、実際に保育の中で子ども達へ狙い通りプログラムを落とし込めているか「再現性」があるのか。その後のヒアリング調査と研修後のフォローを行う。

【活動の様子】



園毎の研修前アンケートに1つ1つ動画解説で答える =保育者に寄り添う

### 3、『Fun&Fit 益城クラブ（総合運動部）フードロスプロジェクト - 』

- 【対象】 6年生児童 20名  
【費用】 NIPPON IT チャリティー駅伝実行委員会（東京）  
一般社団法人 Fun&Fit 予算  
【回数】 毎月1回ずつ実施（実施合計6回 令和5年6月から現在に至る）  
【内容】 6年生の発案をもとに実施するリアル体験活動【ファンタブル】結成

#### ■意味

Fun&Fit × vegetable = Funtable（ファンタブル）

#### ■目的

- ① 農作物フードロス削減
- ② 6年生卒業イベント資金調達
- ③ 次年度の野菜の苗や畑の道具購入

#### ■経緯

年に数回行っている農業体験…子ども達のクッキングやお持ち帰りだけじゃ野菜が余って腐らせていた。→これまで子ども食堂へ提供していたが、こどもたちから農園で余ってしまった野菜をどうにかしたいとの声が上ががり、フードロスプロジェクトが始動

#### ■これまでのアクション

野菜販売、オンライン伝票、値段決め、値札等買い出し、値札メッセージ、袋詰め、ディスプレイ、野菜の現状確認、お店へプレゼン

※お金の計算は子ども達、管理は当団体の責任者緒方（お金可視化）

#### ■こども会議の様子（例えば）

子ども達のリアルな意見から考える

↓

『人はどうして安い料金を求めるのか？でも自分たちが考えた料金は高いと言われる。どちらを優先したら良いか困る』

↓

考えるだけでなく、いろんな人の意見を聞きに行く

- ・お金より大切なことは信頼信用
- ・信頼や想いが伝わると価値が上がる
- ・それは価値のある料金となる
- ・物の料金は背景を伝えると提示された料金で納得してくれる可能性が高い
- ・自分たちの想いを伝えてその料金で納得してもらう

このようにたくさん学んで考えて体得しているプロジェクト!!

## 【実施】

6月30日、7月21日、9月29日、10月27日、11月24日、12月13日

## 【成果】

自分たちが人のために何ができるかを考え、適材適所で個性を発揮している。想像だけや決めつけだけではなく体感してリアル体験する（成功体験や失敗体験を思う存分する）また、仲間の意見を聞く、自身の意見も伝える。子どもたち自身でお金の管理や計算をしてもらうためマネー教育も経験できている。年間通して子ども達も一緒に野菜を管理しているため食に対する興味関心が高まる。

震災直後から継続的に支援を受けた益城町の子ども達は6年生になりました。支援から生まれた「誰かのために今できること」恩返しを考えるようになった

## 【課題】

子ども達にとって【最高の経験】になっています。

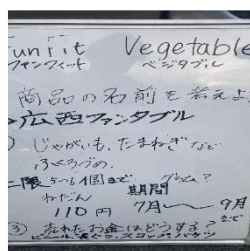
しかし、野菜作っても、プロジェクト立ち上げても『買い手』がいないと結局フードロスにはならない。そのためにはいろんな人の協力があること！自分たちの想いを伝える重要性に気づき、感謝していた子ども達でした。今後は後輩へ想いを繋ぐ、協力してくれる理解者を増やすために宣伝を工夫していく。

## 【活動の様子】

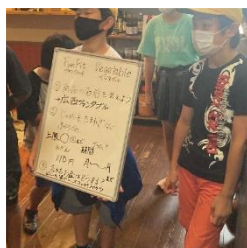
こども企画会議



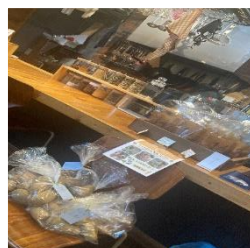
決定事項



飲食店にてプレゼン



お店にディスプレイ



## 【今後の展開】

オンライン有機野菜販売（現在実施）、飲食店での名物メニュー、キッズマルシェ、キッズカフェ

## 開発プログラム啓発事業、子ども考案プロジェクト支援（令和6年）

研究をもとに開発した「Fun&Fit オリジナル運動プログラム - 幼児期に身に付けてほしい 36 の基本動作カード -」体験型研修を継続的に実施し、生活面や運動面で活かせるよう、また狙いのある運動指導が各園で実施できる「再現性」があるのかが課題であった。

研修の回数とアンケート、研修後のヒアリング調査を行い、研修プログラムを改良しつつ事業を継続的に実施する。

※同時に測定をする定期的に職員が実施しているプログラムに対してフィードバックやスキルアップ研修を行う。半年後に再度測定を行い、保育士・幼稚園教諭だけで狙いのある運動指導で向上したかを研究調査する。

昨年同様「益城町」と共に子どもの未来をサポートしていけるように、誰でもどこでも「心身ともに逞しく、災害時や社会に通用するような生きる力を養う」プログラムを全国で幅広く提供できる取り組みを行う。

### 《内容》

#### 1、『幼児体育教室』+『プログラム啓発活動』

【時間】 園の正規時間内

【対象】 年長・年中・年少

【費用】 一般社団法人 Fun&Fit 予算、益城各保育予算

【回数】 各園毎月 1 回ずつ実施

【内容】

研修受講後の先生方へのサーキットカードに関する「使用上の悩み」を集約する為にアンケート調査をする。昨年度同様に研修結果と悩みアンケート調査の結果をもとに、悩みの解決につなげる運動プログラムを在園児に対して指導をし、現場で研修を行う。その後、実践に対するアンケート調査と測定を行い、保育士・幼稚園教諭だけで狙いのある運動指導ができる環境を提示して行く。

【実施日】

■令和6年3月から令和7年3月末 各園12回 計120h

#### 2、『Fun&Fit 益城クラブ（総合運動部）フードロスプロジェクト』

【対象】 6年生児童 ※現5年生へ継承する

【費用】 一般社団法人 Fun&Fit 予算

【回数】 毎月1回ずつ実施

【内容】 6年生の発案をもとに実施するリアル体験活動【ファンタブル】  
オンライン有機野菜販売、キッズマルシェ、キッズカフェ計画中